Vol.35　ギターでベースラインを弾いてみる　～その 3～

『10 分トレ』vol.35、始めていきましょう。

引き続き、ベースラインについてです。

前回、前々回と、ルート&5 度のフレーズをやってきたので、今回はその他の音を見ていきましょう。

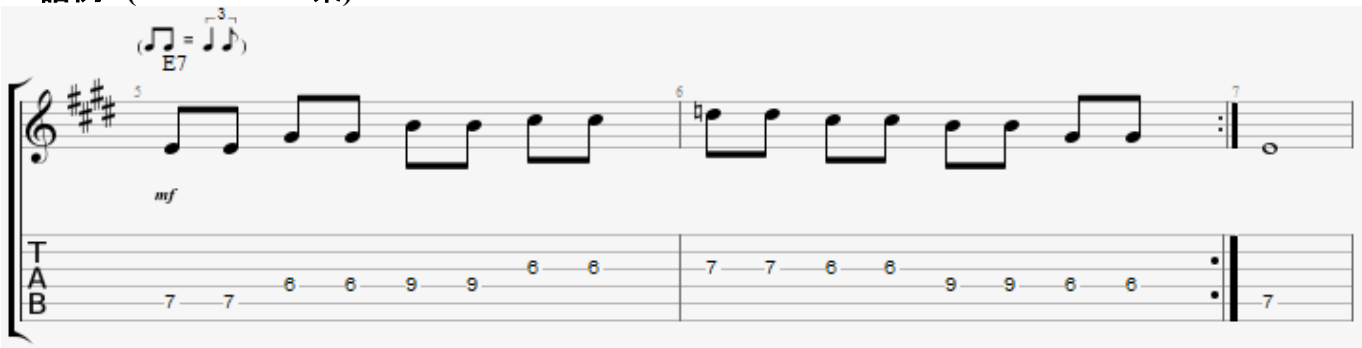
実際の所、「その他の音」と書きましたが、1 度、5 度以外でよく使うのは、大方 3 度と 7 度ですね。

この内、3 度は M3rd、m3rd 両者ともそれなりの頻度で使われますが、7 度の場合は m7th に比べると、M7th はそこまで使われない印象です。

これは、M7th と言う音が、トニック(ルート)に対して半音で接しているので、全体の響きに干渉しやすいからでしょう。(※使われないわけではありませんが)

この辺りを意識しながら、いくつか譜例を見てみましょうか。

譜例 1(M3rd+m7th 系)



これはブルース系の楽曲でよく使われるパターンですね。

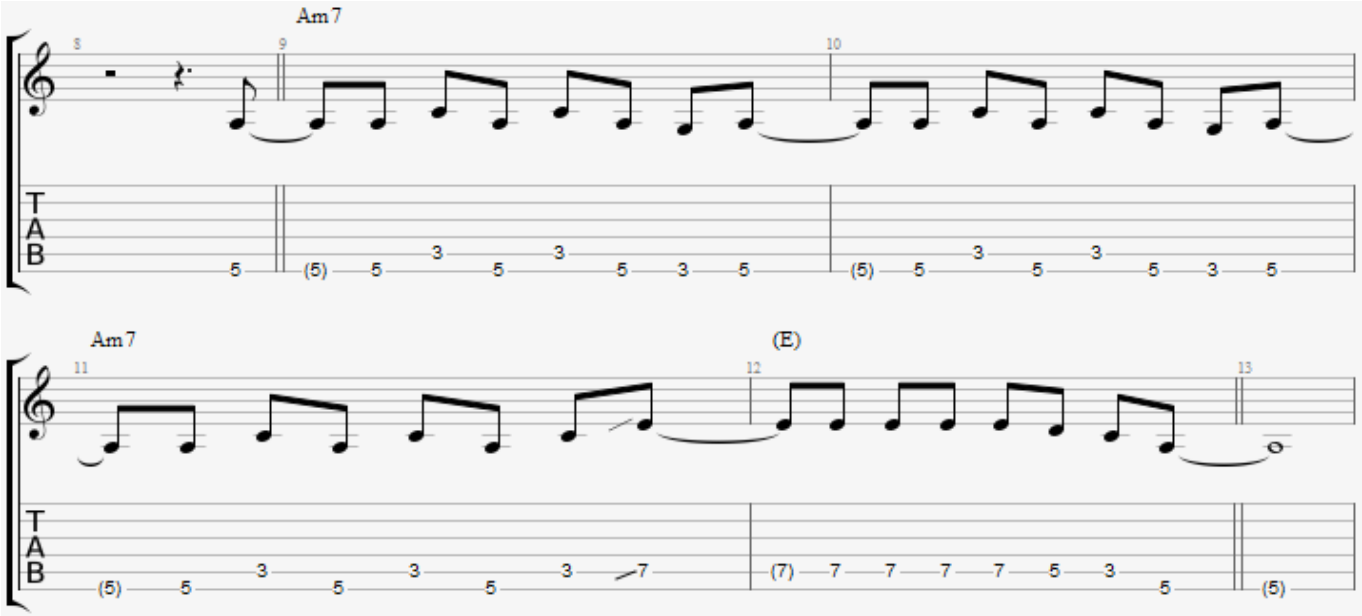
音としては、root、M3rd、P5th、m7th に加え、M6th が出てきます。

譜例は、リズムにシャッフルの指定がありますが、ストレートに弾くと、ジョニー・B・グッド等に代表される、ロックンロール系のパターンとしても使えます。

続いて、m3rd と m7th を使ったものを見ていきましょう。

譜例 2(m3rd+m7th 系)

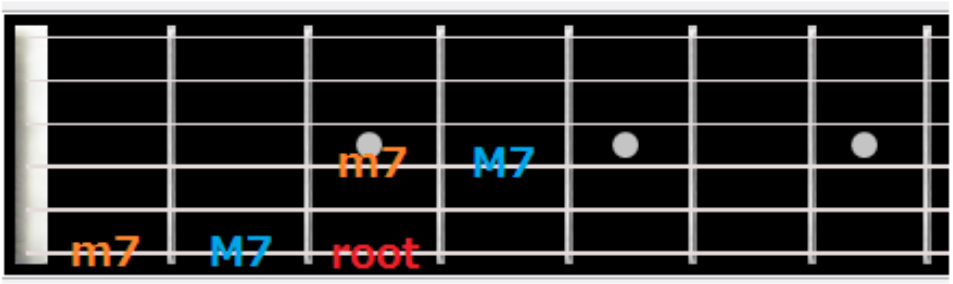
Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved



このテキスト上では、基本的にギターで確認していますので、上記譜例はベースラインと言うよりはリフっぽい感じもしますね。

どちらかと言えば「使われている音(とその配置)」を意識して弾いてみて下さい。

ちなみに、良く使われる 7 度の見方は大きく二つあって、以下の様にルートから見て、下の音程で扱うか、上の音程で扱うか、となります。



これらは他のテキストでもやった事ですが、ベースラインを見る時にも使えますので憶えておきましょう。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved